

ハ乙女

全国一斉社会奉仕の日



南山見老人クラブ連合会の皆さん

新しい暮らし方と、 その中で

南山見地区町内会長代表 梅村 努

「平成」が終わり「令和」という新しい時代を迎え、今年も東京オリンピックで日本中が大いに盛り上がり、と期待していましたが、一転、年明けから一気に広がった新型コロナウイルスの影響で、私たちの暮らしや働き方が大きく変わってしまいました。

連日、テレビ・新聞紙上では、「ソーシャルディスタンス」「テレワーク」「リモート会議」「オンライン授業」といった、耳慣れない言葉が飛び交うようになり、それが、一般社会に取り込まれて、より身近なものに変化し、今では当たり前のこととなっています。

人との接触が制限される中、一般家庭に於いても、遠方で暮らすご家族の方やご親戚の方と顔を合わせることもままならない状況になっています。

また、日本各地で、何十年・何百年、途切れることなく受け継がれて来た、伝統的な「神事」や「祭事」でさえも、中止や規模縮小に追い込まれています。

こうした社会環境が大きく変わるなか、会社や職場では人の行動が管理されたり制限されていますが、地区や地域においては、今まで通り、近隣住民が声を掛け合い「見守り」や「助け合い」で地域活動を継続させることが重要だと思っています。

私も新しい生活スタイルの中で自分の役割を見つけ出し、どのように地域貢献できるかをしっかりと考えていきたいと思います。

イノシシ対策現地視察を実施して

まちづくり部会長 山本義秀

去る七月十九日(日)午前八時から、主に山際の町内の会長さんが集まり現地調査に向かった。

まずは志観寺エリアから。イノシシの侵入経路があまりにも広く、どこから手をつければ良いのかと悩む住民。取りあえず圃場をループ状に囲む方式で対策をしている。町部に隣接し、進入路をふさぐ方式は費用対効果から見ても無理と感じる。瑞泉寺にイノシシが参拝するようになれば、南砺市も考えてくれるかも。

次は連代寺エリア。今年は山際から侵入できないよう、金網柵三百mで恒久設置、残りを電気柵で施工した。しかし、どこから入ったのかイノシシが道や畔を右往左往走り回っているのではないかと。この方式の問題点は、一旦入ると簡単に山に帰れなくなることだ。何回追い出し作戦を実施したことか。追い出し中にエリア内にいたイノシシが突然、柵の外にいる。原因は電気柵が畦畔の中ほどに設置してあり、畔から柵を飛び越えたものであった。ライン取りを、畔の頭に変更した。他の進入路は、西大谷川砂防えん堤の右岸にある。えん堤横の急斜面に、けもの道ができて



一 西大谷川へ逃げるイノシシ

いる、ここから清玄寺や連代寺に日々出勤しているようだ。後日、砺波土木センターの許可を得て、河川管理道路を横断する電気柵を延長追加した。次年度以降、前記山際柵を延長して西大谷川右岸まで山林の中を金網柵で設置する計画を立てている。清玄寺は、西大谷川や南砺山麓用水で遮断し易く、山からの主要な道路もないので対策は取り易いと考える。今、砂防えん堤工事中エリア内の耕作放棄田がイノシシのヌタ場になっており、凄惨なことになっている。工事が終われば、しっかりと進入路を遮断してもらいたい。東城寺も西大谷川と山麓用水を活用した対策をとっている。山中の山麓用水を視察中に我々の前をイノシシが三頭、下から登ってきて上手に逃げて行った。電気柵で囲むエリア内に山林があり、その



一 志観寺で状況を聞く

中で生息することは十分に考えられるので電気柵のルートを再考する必要があると感じた。終わってみて、電気柵でのイノシシ対策は、基本を忠実に守ることに尽きる。彼ら(彼女ら)は穴(弱点)を見つけないため、電気線の外側を何日もくまなく歩いていく。見つけた際には「イ(ノ)ッシッシ、見つけたもん」と言っているに違いない。感電する部位は鼻先だけである。安全と思えば何度でもその場所を通る。あとは、点検巡回を怠らないこと。足跡を見ることが解決策は見つかると確信している。また、電気柵を設置している町内が増えた。今後は町内ごとの連携を進め、隣接する電気柵のルートを調整して、より有効で効果が上がるようにしていきたい。



一 連代寺に設置された恒久柵

令和2年度 クリーンアップ事業の実施結果について



6月から8月にかけて、各町内会にて「市道クリーンアップ事業」を実施していただきました。これは南山見一円の市道のゴミ拾いや草刈り、土砂上げ等を行って頂く事業で、今年度はコロナ感染症の対応でいろいろな活動が中止となる中、3密対策を取りながらの活動となりましたが、延べ300名以上の方に参加していただきました。こうした活動の積み重ねにより、今後も美しく住みよい南山見を守っていきましょう。



今年も「要望書」を提出しました

会長 碓井好彦

南山見地域づくり協議会まちづくり部会に提出いただいた各町内からの要望事項のほとんどは、「地域づくり協議会井波連合会」の要望書に盛り込んでいただきました。この要望書を持って井波連合会の役員で、9月10日には南砺市ふるさと整備部長・建設整備課長・建設維持課長・ブランド戦略部長・林政課長・総合政策部長・政策推進課長・市民協働部長・税務課長に、9月16日には南砺市長にお願いしてきました。市長要望の際は、井波地域の市議会議員にも同行いただき、特に、才川議員からは強く後押ししていただきました。なお、10月末までには、富山県砺波土木センター長、南砺警察署長等にもお願いに行く予定です。本地区からの要望事項は以下の通りです。

1 里領町内会からの要望

- ・道路のアスファルト破損箇所の補修
- ・五領地内の八ヶ用水に堆積した土砂の浚渫

2 沖町内会からの要望

- ・中江川（沖地内）の転落防止柵補修

3 東城寺町内会からの要望

- ・市道東城寺線舗装補修
（流水が均一に流れるオーバーレイ舗装）

4 清玄寺町内会からの要望

- ・クマ、イノシシ、シカ等の生態調査をして対策に生かす。

5 連代寺町内会からの要望

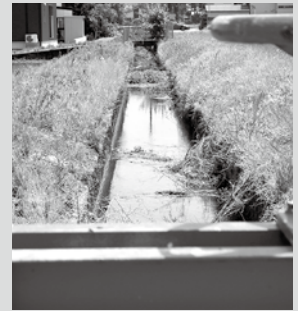
- ・西大谷川最下流砂防ダムの堆積土砂の浚渫

6 志観寺町内会からの要望

- ・梅谷川支流の堆積土砂の浚渫と流路工整備

7 昨年度までの要望の継続

- ①主要地方道井波城端線（谷～城端）歩道の拡幅等の整備促進
- ②県管理河川堆積土砂の浚渫等
 - ・西大谷川上流（沖・清玄寺・東城寺地内）
 - ・干谷川（院瀬見地内、三清東地内）
- ③治山事業の整備促進
 - ・川原毛谷流路及び谷止工
- ④水路改修
 - ・川原毛谷水路線形改良
- ⑤林道の適切な維持管理
 - ・路肩陥没箇所の整備
 - ・路肩の草刈りや雑木の処理
 - ・山側法面の樹木処理



— 八ヶ用水に堆積した土砂 —



— 西大谷川沖地内に堆積した土砂 —

花と緑の銀行 活動紹介

頭取 田中一昭

当銀行は、花と緑に満ちた潤いのある社会を実現するための推進母体として、富山県が昭和48年に設立しました。組織としては、南砺市全体の業務を行う南砺支店の中に、井波支所そして、南山見地方銀行があります。

南山見地方銀行では、頭取（まとめ役）とグリーンキーパー（指導員）合わせて9名が活動しています。今年は長年にわたってご尽力いただいた、才川美代子さん、前川真介さんに代わり、新たに村松春美さんが仲間に加わっていただきました。活動内容としては、井波小学校入口信号機角の八乙女花壇作り・整備をはじめ、南砺市花と緑のフェスティバルミニ花壇づくり、児童クラブの皆さんと一緒に交流センターのプランターの花植え・チューリップ球根植え等です。今年は、コロナ禍で児童クラブの皆さんと一緒に活動することができず、残念な思いをしています。

行政センターがなくなり支所の行政担当者がいなくなったため、これまで以上に活動は大変ですが、メンバーが協力して頑張っています。

令和2年度 花と緑の銀行メンバー

南山見地方銀行頭取 田中 一昭

グリーンキーパー

徳成 花枝	亀田セツ子	銅 光枝
横江 清隆	池田 隆志	中村 外子
池田 啓子	村松 春美	



学習・スポーツ部会

コロナ禍での数々の行事中止

学習・スポーツ部会長 田中一昭

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、「密閉・密集・密接」の三密を避けるために、本部会が主管する数々の行事を中止せざるを得ませんでした。

・昨年バレーボール型のスポーツ大会を一本化した「ビーチボール大会」は、昭和五十九年に始まって以来、今年三十七回目を開催する予定でした。

・平成十三年に富士山登山を実施した「体力づくり・レクリエーション」は、公民館が完成した昭和五十三年に始まり、今年で四十三回目の予定でした。

・青少年育成市民会議と共催行事は三つでした。「ラジオ体操、ミニマラソン大会」は、グラウンドが完成した昭和五十三年に始まり、四十三回目の予定でした。同じく「教育懇談会」は昭和六十年に始まり、三十二回目の予定でした。

・平成二年の開町六百年を記念して前庭に埋めたタイムカプセルの「三十年後開封」も予定していました。

・「八乙女フェスティバル」は、昭和五十三年に「盆踊り大会」で始まり、四十三回目の予定でした。

・「地区体育祭」は、昭和五十三年に始まり、四十三回目の予定でした。四十一回大会は台風の接近により中止しましたので、今回は二度目の中止です。

・「八乙女文化祭」も昭和五十三年に始まり、四十三回目の予定でした。

地域づくり協議会理事会、区長会等で、それぞれの行事開催について協議した際、「感染防止対策を講じた上で実施すれば良いのでは」という貴重な意見もありましたが、最終的には多数決で中止を決定させていただきました。地域の皆様には、楽しみにしておられたことと思いますが、誠に申し訳ありませんでした。来年は通常通り実施できることを祈っています。



第17回南山見地区八乙女文化祭 (H6.11)



第18回八乙女フェスティバル (H7.8)



第1回南山見地区体育祭 (S53.9)

元井波町議会議員

前川哲郎氏 逝去

平成七年四月から平成十六年十月まで当地区選出の町議会議員としてご活躍され、勇退された後も、七村郷Vセブン委員会による不動滝周辺の美化活動等で地域発展に寄与されました。謹んでご冥福をお祈りします。

ご遺族の前川浩信様より、南山見地域づくり協議会へ多額のご厚志を頂戴いたしました。交流センターの備品購入等に使用させていただきます。ありがとうございました。

南山見忠魂碑慰霊祭

南山見忠魂碑維持会 庶務 山崎賢英

例年八月十五日には、各町内会長にご協力を頂いて南山見忠魂碑慰霊祭を実施してきました。ところが、今年はコロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。慰霊祭は無くなりましたが、役員一同で先人の霊に思いをはせ忠魂碑周辺を除草させていただきました。終わりになりますが、日頃より忠魂碑を見守っていただいております。浄教寺様はじめ関係各位に感謝申し上げます。



敬老の集い

今年は、残念ながら新型コロナウイルスによる感染防止のため「敬老の集い」の開催を中止させていただきます。

七十五歳以上の対象者二百五名、米寿の祝いの方が七名、開催を楽しみにしていた方もおられたと思います。中止とはいえないかもしれないわけにはいきません。

今回は、地域づくり協議会の健康・福祉部会の方の応援をいただき、社会福祉協議会の役員と一緒に対象者にあいさつ状、饅頭等を一軒一軒訪問して配りました。米寿の方には、地域づくり協議会会長、老人クラブ会長、社会福祉協議会会長より、それぞれ記念品、お祝い状を渡していただきました。

皆さんの元気な姿と笑顔が見られ安心いたしました。

あいさつ状にも書きましたが、今年は、庚子と言う年にあたり何か新しい事をやるにはいい年で



あり、対象者の方には二度目の年かと思いますが、何か挑戦しようとうと、書状を持って声をかけさせていただきます。

最後に、準備にご尽力いただきました社協の皆さん、協力してくださいました健康・福祉部会の皆様に感謝申し上げます。来年の「敬老の集い」には元気な姿を拜見できそうですよう、地域住民とともに望んでおります。

コロナの終焉を願いつつご自愛ください。

(健康・福祉部会)

南山見地区社会福祉協議会

事務局長 前川 幸雄



祝米寿

おめでとうございます

- 山口 武子 様 (院瀬見)
- 長田 しざ 様 (院瀬見)
- 山本 とよ子 様 (院瀬見)
- 須川 一子 様 (東城寺)
- 須川 茂信 様 (東城寺)
- 箭原 幸子 様 (今里)
- 高田 美代子 様 (沖)

老人クラブ

環境美化奉仕活動

南山見老人クラブ連合会は南山見地区の環境美化活動の一環として七月十八日(土)早朝より交流センター周辺の草刈り及び清掃を実施しました。



新型コロナウイルスの影響で今年初めての老人クラブ活動となり、作業は各地区のクラブ会員総勢四十三名が草刈り機・鎌・ほうき等を持ち寄って行いました。

今年是小雨模様でしたが、長くなっている雑草を草刈り機材二十九台のエンジン音を響かせながら約一時間程で終了しました。

農村公園やグラウンド・花壇・石碑の周辺が見違える程きれいになり、地区の皆さんに喜ばれています。

この美化活動が老人クラブの一大行事活動として継続していかねばならないと思ひますし、明るく住み良い地域づくりに貢献して行きたいと思ひます。

(南山見老人クラブ連合会)

事務局長 前川 茂

第三十五回 全国一斉社会奉仕の日

南山見老人クラブ連合会では、恒例の社会奉仕の日として、九月十九日(土)の早朝五時三十分より、南山見交流センター周辺の清掃活動を行いました。

雨模様が続く天候が心配されましたが曇り空で雨はなく、早朝のまだ薄暗い中から多くの会員各位が集まっていた作業が始まりました。

総勢四十一名の参加の下、グラウンドの草刈り、花壇の中の草むしり等、テキパキと作業をしていただき、竹箒で掃き掃除を行い、約一時間程度でグラウンドや花壇の周辺がすっきりときれいになりました。

早朝からご協力いただいた会員各位には、改めて心より感謝申し上げます。

今後も地域に根ざした老人クラブ活動を心掛けて行きますので、一層のご協力をよろしくお願ひいたします。

(南山見老人クラブ連合会会長)

長田 晴樹



今年度の南山見老人クラブ連合会活動について

今年度は新型コロナウイルス感染禍から、集会等は三密を避けられず活動を制限せざるを得ない状況が続いております。このような中、屋外活動で比較的三密も回避可能なことから、七月環境美化奉仕、九月全国一斉社会奉仕の日の活動を実施したところ多数の会員各位にご参加、ご協力いただき誠に有難うございました。残念ながら年内三回予定していた高齢者学級は中止せざるを得ず、心苦しく思っております。コロナの終息が一日も早く訪れ、平穏な日常が来ることを願っております。会員各位にはご自愛いただき健康でお過ごしください。

(老人クラブ 長田 晴樹)

南山見の商工業の歴史 シリーズ その4

滝田石材店

滝田石材店は、中学校を卒業後石屋で修行していた父が、昭和三十八年に創業しました。当初は機械化も進んでおらず、ほとんどの作業が人の手でした。

石材店と聞くとお墓の建立、修理・リフォーム、洗浄・クリーニングも行っています。最近ではお墓の免震施工も始めました。お墓以外にも、石が使われているあらゆる場面での仕事があります。住宅で言えば、表札や洗面台、床材や壁材に石を選ばれた場合や、庭の灯籠や飛び石などです。変わったものでは、ピザ窯やスピーカー、花器や傘立てなど、石に置き換えられるものはいろいろと作ってきました。

近年では機械化も進み、効率よく、ミスも少なくなりましたが、機械ではできない手作業の良さもあります。例えば、硬くて冷たいイメージの石の表面を手で削ることで温かい雰囲気になります。また、中国製品の台頭も久しく、周りでも多く見られますが、滝田石材店では、国内加工をモットーに、原石で仕入れ、お客様とコミュニケーションをとられる形に加工することを心がけています。



これからも、昔からある手作業の技術を大切にしながら、お客様のご要望に答え、作り手の顔が見える仕事をさせていただきます。

(瀧田 龍也)



成年部環境美化活動

6月21日(日)に成年部会員13名の参加で美化活動を行いました。内容としては草刈機やクワを持参して南山見交流センター周囲、グラウンドの草刈り、溝掃除を行いました。

新型コロナウイルスの影響で活動自体も自粛の中、また、年々会員数も減ってきている中で多数の参加があり、協力し合い活動を行うことができ、とても良かったと思います。今後も会員同士協力し合い活動を充実させて行きたいと思えます。(成年部会長 筋原 克昇)



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、地域づくり協議会が計画していた事業を次々と中止せざる得なくなりました。このため会報を編集することが極めて困難な状況でありましたが、紙面を縮小して何とか第一二八号を発行することができました。寄稿していただいた皆様には、心から感謝申し上げます。コロナ禍はいつまで続くのでしょうか。全国では台風による被害も多発しています。疾病や自然災害から身を守り、新しい年を迎えたいものです。

(編集委員長)

編集後記

高瀬神社 献穀田・抜穂祭

9月20日

5月中旬に高瀬神社の御田植祭が行われた交流センター前の田んぼの苗が、すくすくと育っていくのを眺めていたら、もう黄金色に色づき、奉耕者の谷川徹さんや関係者が参列の元、抜穂祭が古式ゆかしく執り行われました。

地元の小中学生が刈女を務め、コシヒカリを手刈りし、今では見られなくなった稲架で、稲を干されました。台風が近づいていたので、風情のある風景はしばらくだけ眺めることができました。(事務局)

